



## 新関西国際空港(株)による国家戦略特区への提案について

当社は、昨年7月に大阪国際空港と経営統合し、新会社として策定しました「中期経営計画」に基づき、両空港の事業価値の向上を進めつつ、「関西国際空港及び大阪国際空港の一体的かつ効率的な設置及び管理に関する法律」の目的であります関西国際空港の国際拠点空港としての再生、強化および関西全体の航空輸送需要の拡大、債務の早期かつ確実な返済を図るべく、公共施設等運営権の設定(以下:コンセッション)に向けて取り組んでおります。

このたび、国における日本経済再生に向けた第三の矢であります日本再興戦略の要として、「国家戦略特区」の募集が行われており、当社として、関西国際空港を活用した国の経済成長に資する下記のプロジェクトを内閣官房地域活性化統合事務局に提出しました。

これらプロジェクトは、コンセッション実現に向けた関西国際空港の事業価値向上に繋がっていくものと考えております。

なお、本提案は、大阪府・大阪市・関西経済連合会と連携しており、これら三団体からも国に同主旨のご提案をして頂いております。

### 記

#### 1. 関西国際空港(KIX)グローバル・サプライチェーンプロジェクト (別添資料参照)

～医療機器リペアセンターのアジア拠点立地等によるグローバルビジネスの活性化～

○アメリカやシンガポール等においては、国際空港にFTZ(自由貿易地域)等を導入し、国際物流事業者との連携により、グローバル企業の拠点を立地し、地域経済との相乗効果を発揮させ、経済の活性化を図る取組が進んでおります。我が国唯一の完全24時間の国際拠点空港である関西国際空港においても、諸外国に勝る世界一ビジネスのしやすいグローバルな競争環境を輸出入関連の規制緩和等によって整備し、世界、アジアの成長を取り込むグローバルサプライチェーンの拠点を形成してまいります。

○具体的には、航空貨物と親和性の高い成長産業(健康・医療産業、エネルギー関連産業、6次産業等)の拠点立地を進め、これを我が国の成長に繋げてまいります。その第1弾として、アジア市場の需要拡大が期待され、また日本再興戦略においても重点テーマと位置づけられております医療機器分野について、アジア拠点の形成を図ってまいります。

#### 2. 関西国際空港(KIX)スマート愛ランド構想「水素グリッドプロジェクト」 (別添資料参照)

～我が国初の空港での水素エネルギーの大規模活用と水素関連産業の世界市場の獲得～

○当社は、本格的な水素社会の到来を見据え、水素エネルギー関連の規制緩和等によって非常時、災害時にも対応した世界最高水準の安全性と環境性を備えた関西国際空港「スマート愛ランド構想」の実現に取り組んでおります。

○現在、大規模な水素エネルギーの空港施設への導入と併せて、FC(燃料電池)フォークリフトなどの水素関連アプリケーション実用化のための実証事業を展開しておりますが、国家戦略特区において、「スマート愛ランド構想」実現を加速化することによって、我が国のFCシステム・産業用車両などの水素関連産業の世界市場の獲得を図って参ります。

# 関西国際空港（KIX）グローバルサプライチェーンプロジェクト

～医療機器リペアセンターのアジア拠点立地等によるグローバルビジネスの活性化～

・アメリカやシンガポール等においては、国際空港にF T Z等を導入し、国際物流事業者との連携により、グローバル企業の拠点を立地し、地域経済との相乗効果を発揮させ、経済の活性化を図る取組が進んでいる。そのため、関西国際空港において諸外国に勝る世界一ビジネスのしやすいグローバルな競争環境を整備し、世界・アジアの成長を取り込むグローバルサプライチェーンの拠点を形成する。

・具体的には、航空貨物と親和性の高い成長産業（健康・医療産業、エネルギー関連産業、6次産業等）の拠点立地を進め、これを我が国の成長に繋げていく。その第1弾として、アジア市場の需要拡大が期待され、また日本再興戦略においても重点テーマと位置づけられている医療機器分野について、アジア拠点の形成を図って行く。

## 「医療機器のリペアセンター等のアジア拠点の形成」

世界の医療機器市場は、米国が4割程度占めており、医療機器メーカーの規模を含め日本勢が遅れを取っている状況。医療機器市場の成長を踏まえ、関西国際空港の航空ネットワークや立地の優位性、日本の高い修理技術を活かし、アジアでニーズの高まっている医療機器のリペアニーズを日本に取り込む。さらに、こうした新たなビジネスモデルを起爆剤として、医療機器の輸出拡大等の我が国の成長に繋げていく。

### ◆ 関空の強み

- ・完全24時間運用
- ・アジアの充実したネットワーク
- ・伊丹との複合的な国内ネットワーク
- ・空港内の施設用地
- ・海上空港のセキュリティの高さ

### ◆ 関西の強み

- ・東大阪など世界に誇れるものづくり産業の集積
- ・i p s細胞をはじめ医薬品産業・研究機関の集積地
- ・我が国第2の市場規模を誇る経済圏

## 【国に求める要望】

規制緩和	AEO制度認定手続きの緩和、認定事業者の輸出申告手続きの簡素化（関税法）
	輸出入時の税関における他法令確認の省略・簡素化（関税法・関係法令）
	医薬品・医療機器の輸入手続きの電子化・自動化（薬事法）
	農林水産物・食品の輸出に要する公的検査制度の創設等（食品衛生法）
	修理等のための医療機器の再輸出手続きの簡素化（関税法・薬事法）
税制優遇	関空と阪神港を活用した国際輸送における仮陸揚げ手続きの緩和（関税法）
	法人実効税率の引下げ（法人税法）
	選択関税制度の創設（関税法）

## ☆ 事業効果

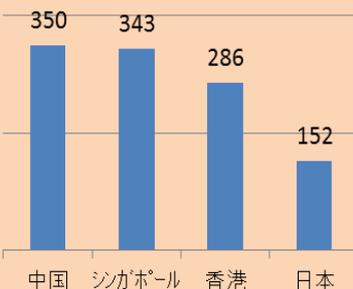
外需取込みによる新たな産業の創出、日本経済への波及効果、雇用創出効果が期待。

- ◆ K P I ・医薬品、医療機器、再生医療の医療関連産業の市場規模を2020年に1.6兆円（現状1.2兆円）に拡大
- ・2020年に農林水産物・食品の輸出額を1兆円（現状約4,500億円）
- ◎ 貢献度 貨物取扱量：20万トン増加（H26）H29まで企業誘致により更に拡大
- リペアセンター設置から順次ニーズの取込み（H29）

【参考】シンガポールや香港等は、アジア拠点立地数で日本を凌駕。

制度格差が主な原因！

◎ アジア統括拠点の立地企業数  
(2011年経産省調べ)



◎ 優良認定事業者数

	制度	事業者数
日本	AEO	約450者
アメリカ	C-TPAT	約10,000者
中国	CME	約1,700者

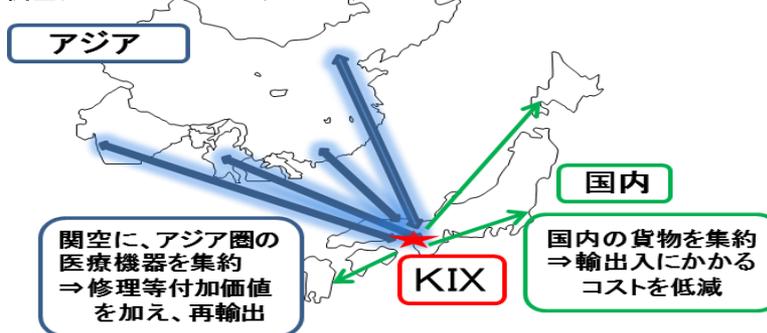
※相互認証制度なのに、各国の取得事業者数に差！

◎ 税制優遇

	日本	シンガポール・香港	韓国
法人税	△	○	◎
選択関税	×	◎	○
補助制度	×	○	○

※シンガポール・香港は実質関税ゼロ、韓国は実質法人税率ゼロ！  
※選択関税は、沖縄特区のみ適用。

## ☆ 関空グローバルチェーン(イメージ)



【実施体制】新関西国際空港株式会社、国際航空物流事業者、医療機器リペアメーカー、大阪医薬品協会、関西・食・輸出推進事業協同組合等

# 関西国際空港（KIX）スマート愛ランド構想「水素グリッドプロジェクト」 ～我が国初の空港での水素エネルギーの大規模活用と水素関連産業の世界市場の獲得～

・本格的な水素社会の到来を見据え、大規模な水素エネルギーの空港施設への導入と併せて、FCフォークリフトなどの水素関連アプリケーション実用化のための実証事業を展開し、非常時・災害時にも対応した世界最高水準の安全性と環境性を備えた関西国際空港「スマート愛ランド構想」の実現とともに、わが国のFCシステム・産業用車両などの水素関連産業の世界市場の獲得を図る。

## 【事業内容】

- ★ FC産業用車両の開発・実用化を図る。関西国際空港の貨物施設へのFC産業用車両の積極的な導入を進める（将来的に関空の全構内車両について、完全FC化を目指す）。
- ★ 大規模水素システム等開発・整備（2015年）、空港ターミナルビル等への水素エネルギーを供給（2016年からLCCターミナル等にエネルギー供給開始）
- ★ 関西空港・伊丹空港に水素ステーションを整備（2014～15年）、関西空港－伊丹空港間にFCリムジンバスの導入（2016年以降）
- ・上記に加えて、再生可能エネルギー事業を順次展開し、空港島の全エネルギーの見える化システムを整備。これら空港の次世代エネルギー活用モデルや水素関連のシステム・アプリケーションをパッケージで海外展開。

## 必要な規制緩和等

### <規制緩和・制度提案>

#### ★水素インフラ整備・運用に係る規制緩和

- ・水素充填設備の屋内設置を可能とする措置（高圧ガス保安法）
- ・水素充填作業の資格の緩和（高圧ガス保安法）
- ・水素ステーションの普及拡大に向けた液化水素の地下貯蔵設置基準の新設等（高圧ガス保安法）

#### ★空港のエネルギーマネジメントや、非常時の空港機能の維持に向けた規制緩和

- ・FC大型車両の非常用電源への使用に係る緩和措置（電気事業法）

### <税制優遇>

- ★FC産業車両等の導入に係る税制優遇
- ★水素インフラ整備に係る税制優遇 など

## 事業効果

- ★我が国の水素関連産業の外需の取り込み、新産業の創出等による経済成長・雇用創出等と併せて、非常時・災害時における国際拠点空港の機能維持が図られる。
  - KPI 2020年のインフラシステム受注 約30兆円に拡大  
2030年までに新車販売に占める次世代自動車の割合を5～7割に など
  - ◎貢献度  
⇒FC産業車両の早期国内市場の形成、海外への普及を促進  
⇒2020年までに、空港内CO2排出量を現状の20%削減 など

## 水素社会に向けた国の目標

- ◆経済産業省資源エネルギー庁「エネルギー基本計画」
  - 水素エネルギー社会の実現  
水素は、民生・産業部門の分散型電源システムや輸送用途の有力なエネルギー源の一つとして一層の活用が期待
- ◆経済産業省蓄電池戦略PT「蓄電池戦略」
  - 燃料電池車の2015年の4大都市圏（東京、名古屋、大阪、福岡）での市場投入及び100カ所の水素供給設備の整備を目指す

## 燃料電池システム世界市場（富士経済調べ）



## 実施体制「KIX水素グリッド研究会」

新関西国際空港、岩谷産業、トヨタ自動車、豊田自動織機、三井物産、豊田通商、関西電力、大阪府

# 関西国際空港 (KIX) スマート愛ランド構想「水素グリッドプロジェクト」

## KIX水素グリッド(イメージ図)

— 熱グリッド — 電力グリッド — H<sub>2</sub>

